

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-140032

(P2010-140032A)

(43) 公開日 平成22年6月24日 (2010.6.24)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
G03B 17/56 (2006.01)	G O 3 B 17/56 A	2 H 1 0 5
H04N 5/225 (2006.01)	H O 4 N 5/225 E	5 C 1 2 2

審査請求 未請求 請求項の数 19 O L 外国語出願 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2009-282074 (P2009-282074)	(71) 出願人	509075125
(22) 出願日	平成21年12月11日 (2009.12.11)		ゲイリー フォン, インコーポレイティド
(31) 優先権主張番号	12/332, 988		アメリカ合衆国, 98101 ワシントン
(32) 優先日	平成20年12月11日 (2008.12.11)		, シアトル, ファースト アベニュー 13
(33) 優先権主張国	米国 (US)		01, スイート 2101
		(74) 代理人	100099759
			弁理士 青木 篤
		(74) 代理人	100092624
			弁理士 鶴田 準一
		(74) 代理人	100102819
			弁理士 島田 哲郎
		(74) 代理人	100157211
			弁理士 前島 一夫
		(74) 代理人	100112357
			弁理士 廣瀬 繁樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カメラ用スタンド及びカバー

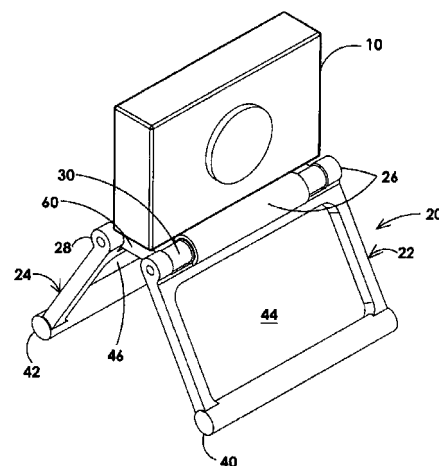
(57) 【要約】

【課題】カメラの昇位支持を提供するスタンドであり、スタンドとして利用されていないときは、カメラの保護とその操作とが可能なスタンドを提供する。

【解決手段】本発明のスタンドは、ねじ式の受口を有するカメラ用のスタンドであり、基部と、基部にヒンジ接続された少なくとも二つの翼部と、カメラを基部に取付けるように構成されている取付ペグと、を備える。

【選択図】図1

図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

カメラ本体とカメラスタンド受口とを有するタイプのカメラ用のスタンドであって、基部と、
前記基部にヒンジ接続された少なくとも二つのフレーム型の翼部と、
前記カメラ本体を前記基部に取付けるように構成されている取付ペグと、
を備えるスタンド。

【請求項 2】

様々な寸法を有するカメラが前記スタンドに取付け可能である、請求項 1 に記載のスタンド。

10

【請求項 3】

前記翼部は、前記カメラ基部に対して摩擦ばめにより調整可能なよう構成されており、取付ペグを締め付けることにより、前記カメラ本体が前記翼部に対して押圧して前記翼部を所望の位置に固定する、請求項 1 に記載のスタンド。

【請求項 4】

前記翼部は、衝撃を吸収する材料を含む、請求項 1 に記載のスタンド。

【請求項 5】

前記翼部が、前記カメラを保護するために前記カメラ本体の周囲の位置まで回転できる、請求項 1 に記載のスタンド。

【請求項 6】

前記翼部が前記カメラ本体の周囲にある間、前記カメラの操作ができるように前記翼部のそれぞれが窓部を形成する、請求項 5 に記載のスタンド。

20

【請求項 7】

前記翼部が、前記カメラの昇位支持を提供するように少なくとも一つの位置まで回転することができる、請求項 1 に記載のスタンド。

【請求項 8】

前記取付ペグが、刻み付の係止ノブをさらに備える、請求項 1 に記載のスタンド。

【請求項 9】

前記基部が、スタンドに対する前記カメラの位置を調整できるように前記取付ペグが通るスロットをさらに備える、請求項 1 に記載のスタンド。

30

【請求項 10】

前記翼部が、前記スタンドを滑りから防ぐように構成されている足部をさらに備える、請求項 1 に記載のスタンド。

【請求項 11】

カメラ本体とカメラスタンド受口とを有するタイプのカメラ用のスタンドであって、基部と、
前記基部にヒンジ接続された少なくとも二つの翼部であって、カメラを保護するために前記カメラ本体の周囲の位置まで回転できる翼部と、
前記カメラ本体を前記基部に取付けるように構成されている取付ペグと、
を備えるスタンド。

40

【請求項 12】

様々な寸法を有するカメラが前記スタンドに取付け可能である、請求項 11 に記載のスタンド。

【請求項 13】

前記翼部は、前記カメラ基部に対して摩擦ばめにより調整可能なよう構成されており、取付ペグを締め付けることにより、前記カメラ本体が前記翼部に対して押圧して前記翼部を所望の位置に固定する、請求項 11 に記載のスタンド。

【請求項 14】

前記翼部は、衝撃を吸収する材料を含む、請求項 11 に記載のスタンド。

【請求項 15】

50

前記翼部が前記カメラ本体の周囲にある間、前記カメラの操作ができるように前記翼部のそれぞれが窓部を形成する、請求項 1 1 に記載のスタンド。

【請求項 1 6】

前記翼部が、前記カメラの昇位支持を提供するように少なくとも一つの位置まで回転することができる、請求項 1 1 に記載のスタンド。

【請求項 1 7】

前記取付ペグが、刻み付の係止ノブをさらに備える、請求項 1 1 に記載のスタンド。

【請求項 1 8】

前記基部が、スタンドに対する前記カメラの位置を調整できるように前記取付ペグが通るスロットをさらに備える、請求項 1 1 に記載のスタンド。

10

【請求項 1 9】

前記翼部が、前記スタンドを滑りから防ぐように構成されている足部をさらに備える、請求項 1 1 に記載のスタンド。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本発明はカメラ用スタンドに関する。さらに詳細には、保護用のカメラカバーに変形可能なカメラ用スタンドに関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

20

現在、数多くの様々なタイプのスタンドが、カメラ、例えばデジタルやアナログのステールカメラ及びビデオカメラを支持するために利用されている。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0 0 0 3】

これらのスタンドの多くは、やや大きくて扱いにくく、運ぶのに便利ではない。さらに、使用者がスタンドを使用するとき、まずスタンドをカメラに取付ける必要があり、それに時間がかかる。さらに、スタンドは、使用者が運ばなければならない装備に余計な重量とかさを追加するが、使用者はスタンドが役立つときを常に予想できるわけではない。

【課題を解決するための手段】

30

【0 0 0 4】

本発明の実施形態において、カメラ本体とカメラスタンド受口とを有するカメラ用のスタンドが提供される。スタンドは、基部と、基部にヒンジ接続された少なくとも二つの翼部と、カメラ本体を基部に取付けるよう構成された取付ペグと、を備える。

【0 0 0 5】

スタンドは、スタンドに取付けられる様々な寸法のカメラを保持し得る。さらに、複数の翼部はカメラ基部に対して摩擦ばめにより調整可能であり、取付ペグの締め付けが、カメラ本体の翼部に対する押圧の原因となり、翼部を所望の位置に固定ようになる。複数の翼部は衝撃を吸収する材料を含んでもよい。

【0 0 0 6】

40

カメラを保護するために、複数の翼部はカメラ本体の周囲の位置まで回転し得る。翼部は窓部を有することができ、それによって、翼部がカメラ本体の周囲にあるときでも、カメラを操作することができる。翼部はカメラの昇位支持を提供するように少なくとも一つの位置まで回転してもよい。

【0 0 0 7】

取付ペグは、刻み付の係止ノブを有する場合がある。さらに、基部は取付ペグが通るスロットを備えることができ、それによって、スタンドに対するカメラの位置を調整し得る。さらに、翼部は、スタンドを滑りから防ぐように構成されている足部を備えてもよい。

【図面の簡単な説明】

【0 0 0 8】

50

【図 1】カメラが取付けられた、本発明の実施形態によるカメラ用スタンドを示す斜視図である。

【図 2】他の位置の状態である、図 1 のカメラ用スタンドを示す斜視図である。

【図 3 A】カメラが取付けられていない、図 1 のカメラ用スタンドを示す端面図である。

【図 3 B】カメラが取付けられた、図 1 のカメラ用スタンドを示す端面図である。

【図 4】カメラが取付けられていない、図 1 のカメラ用スタンドを示す下面図である。

【図 5】カメラが取付けられていない、図 1 のカメラ用スタンドを示す上面図である。

【図 6】カメラが取付けられていない、図 1 のカメラ用スタンドを示す側面図である。

【図 7 A】カメラが取付けられた、図 1 のカメラ用スタンドを示す端面図である。

【図 7 B】別のカメラが取付けられた、図 1 のカメラ用スタンドを示す端面図である。

【図 8】本発明の他の実施形態によるカメラ用スタンドを示す上面図である。

【発明を実施するための形態】

【0009】

以下の詳細な説明において、本発明による典型的な実施形態のいくつかを図を用いて説明する。当業者であれば判るように、説明する典型的な実施形態は、本発明の精神又は範囲から逸脱することなく全てにおいて、様々な方法により変更されてよい。従って、図及び説明は制限するものではなく、むしろ本質的には説明するためのものであるとみなすべきである。

【0010】

本発明によるカメラ用スタンドは、支持位置の状態ではカメラの支持とその調整可能な高さを提供し、保護位置の状態ではスタンドとして利用されていないときに、カメラの保護とその継続的な操作とを提供する。

【0011】

図 1、図 4、図 5 及び図 6 は、本発明の実施形態による、カメラ本体 10 を有するカメラ用のスタンド 20 であって、支持位置の状態であるスタンド 20 の斜視図を示す。図 1 では、スタンド 20 がカメラ本体 10 の支持及び高さを提供するように、スタンド 20 が位置決めされている。スタンド 20 は基部 60 と基部に付随する第一翼部 22 及び第二翼部 24 とを備えており、各翼部は基部にヒンジ接続されている。図示された実施形態によれば、基部 60 は概ね長方形に形成されており、翼部 22、24 は、基部 60 の互いに反対側にある端部に配置されている。基部 60 の幅は、標準的なコンパクトカメラの本体、例えば簡単操作のカメラで使用されるカメラ本体の幅とほぼ同じ寸法であり、基部 60 の奥行きは、標準的なカメラ本体の厚さよりも少し大きい。翼部 22、24 の幅は標準的なカメラ本体の幅よりも少し長く、翼部 22、24 の高さは標準的なカメラ本体の高さよりも少し高い。本発明の一つの実施形態では、基部 60 は約 2.54 から 3.81 センチメートル（1 から 1.5 インチ）の幅を有しており、翼部 22、24 は約 10.16 から 12.7 センチメートル（4 から 5 インチ）の長さ、約 7.62 から 10.16 センチメートル（3 から 4 インチ）の高さを有している。

【0012】

本発明の他の実施形態において、スタンドの大きさは他のタイプのカメラ、例えばビデオカメラで動作するように適宜変更されてよい。例えば、基部が約 2.54 センチメートル（1 インチ）の幅を有し、翼部が約 5.08 センチメートル（2 インチ）の長さ、10.16 センチメートル（4 インチ）の高さを有するようにしてよい。さらに、本発明の他の実施形態において、スタンドの大きさを様々な形状及び寸法を有する他のタイプのカメラに適合するように拡大又は縮小してよい。

【0013】

本実施形態によれば、第一翼部 22 及び第二翼部 24 は、概ね長方形のフレーム型に形成されている。第一翼部 22 は三つの第一翼部ナックル 26 を有し、第二翼部 24 は三つの第二翼部ナックル 28 を有する。各翼部ナックルは、基部 60 の端部において、一対の対応する第一基部ナックル 30 及び第二基部ナックル 32 にそれぞれ結合している。翼部ナックル 26、28 及び基部ナックル 30、32 のそれぞれは概ね空洞の円筒形に形成さ

れている。そして、結合する翼部ナックル 26、28 及び基部ナックル 30、32 を通して、一对のヒンジピンがそれぞれ挿入されており、ドアのヒンジと同様に、基部 60 と各翼部 22、24 との間のピボット式結合部を形成している。当業者であれば、より多くの又はより少ないナックルを、翼部と基部との間の結合部を形成するのに使用できることを理解するであろう。さらに、多くの他の様々なヒンジ構成のうち何れか一つが、翼部 22、24 と基部 60 との間のピボット式結合部を形成するように構成されてもよい。

【0014】

図 2 は、図 1 のスタンド 20 であって、コンパクトに保管され、衝突又は落下したときにカメラ本体 10 の保護を提供するように保護位置に位置決めされたスタンド 20 の斜視図を示している。翼部 22、24 は衝撃を吸収可能なやや柔軟性を有する材料、例えばプラスチック又はゴムから形成されてよい。基部 60 は、翼部 22、24 と同じ材料から形成されるか、又は異なる材料から形成されてよい。異なる材料は、衝撃を吸収可能なやや柔軟性を有する材料であるか、又はそうでない材料であってもよい。さらに、基部 60 及び翼部 22、24 は、剛性を有する材料、例えば金属から形成されてもよく、衝撃を吸収する材料、例えばゴムにより被覆されても構わない。翼部 22、24 及び基部 60 は、カメラと同じ色により着色され、それにより、スタンドが目立たなくしてもよい。また、それらは他の所望の色や色のパターン、例えばカモフラージュにより着色されてもよい。さらに、翼部 22、24 及び基部 60 は透明であっても構わない。

【0015】

多くのカメラは、三脚や他のカメラスタンドを受け入れるために、規格寸法のカメラスタンド受口を利用することが可能である。例えばねじ式の受口がカメラ本体によく設けられている。図 3 A 及び図 3 B に示すように、カメラ本体 10 は取付ペグ 34 によりカメラスタンド 20 に取付けられている。取付ペグ 34 は、これらのカメラと互換性のある支柱 36、例えばねじ式の支柱を有する。取付ペグ 34 は係止ノブ 38 をさらに有する。係止ノブ 38 は刻み付であってよい。本発明の一つの実施形態において、支柱 36 がねじ式の支柱である場合、使用者は取付ペグ 34 を緩めるか締め付けるように係止ノブ 38 を回すことで、カメラ本体 10 を取付けてスタンド 20 を操作する。

【0016】

図 4 及び図 5 に示すように、スロット 62 は基部 60 に位置しており、スロット 62 の長さ部分は基部 60 の長さ部分の一部に沿って延びている。取付ペグ 34 の支柱 36 は、スロット 62 を通り、カメラ本体 10 の規格寸法のカメラスタンド受口内に延びている。係止ノブ 38 は、取付ペグ 34 がスロット 62 を完全に通過することを防ぎ、カメラ本体 10 がスタンド 20 に確実に固定されることを維持している。スロット 62 は、基部 60 に対するカメラ本体 10 の位置を調整することを可能にする。例えば、カメラ本体 10 の重量をより中心側にするか、又はカメラで撮影する写真のフレームを調節するために、取付ペグ 34 を締め付ける前に、使用者は取付ペグ 34 をスロット 62 の長さ部分に沿って動かして基部 60 に対してカメラ本体 10 を摺動させてよい。さらに、スロット 62 は、スタンド 20 が様々な異なるカメラに使用されることを可能にする。

【0017】

本発明の一つの実施形態において、支柱 36 は、係止ノブ 38 から離れた位置にねじ山が形成された部分と、係止ノブ 38 に近い位置にねじ山が形成されていない部分とを有する。本実施形態において、一旦支柱 36 がスロット 62 を通り、カメラ本体 10 のカメラスタンド受口内にねじ止めされると、ねじ山が形成されていない支柱 36 の部分は、スロット 62 内に位置する部分になる。この実施形態では、スロット 62 内にある支柱 36 の部分にねじ山が形成されていないので、カメラの位置を調整するために、取付ペグ 34 をスロット 62 の長さ部分に沿ってさらに容易に動かすことができる。

【0018】

本発明の他の実施形態において、スロット 62 は、スロット 62 の一方の端部に拡大された部分を有してよい。例えば拡大された部分は円形を有し、拡大された部分にねじ山が形成されてもよい。また、ねじ山がねじ式の支柱 36 の挿入によって形成されても構わな

10

20

30

40

50

い。拡大された部分は、拡大された部分を支柱 3 6 が通って挿入されるように寸法決めされてもよい。この場合、一旦、支柱 3 6 のねじ山部分がスロット 6 2 の拡大された部分を通して挿入されると、ねじ山が形成されていない支柱 3 6 の部分は容易にスロット 6 2 の長さに沿って容易に摺動することができ、支柱 3 6 のねじ山部分が取付ペグ 3 4 のスロット 6 2 から外への滑りを防止する。

【0019】

本発明の他の実施形態において、支柱 3 6 はスロット 6 2 を通り圧入されてもよい。

【0020】

図 3 B に示すように、取付ペグ 3 4 を締め付けることにより、カメラ本体 1 0 が第一翼部ナックル 2 6 及び第二翼部ナックル 2 8 を押圧するようになる。カメラ本体 1 0 が第一翼部ナックル 2 6 及び第二翼部ナックル 2 8 を押圧するので、翼部 2 2、2 4 は基部 6 0 に対して回転することから防止される。この実施形態では、カメラ本体 1 0 と第一翼部ナックル 2 6 及び第二翼部ナックル 2 8 との摩擦が、翼部 2 2、2 4 を適切な位置に固定して翼部 2 2、2 4 の回転を防止する。従って、使用者は翼部 2 2、2 4 を所望の位置に位置決めして、次いで基部 6 0 に対して翼部 2 2、2 4 の位置を固定するように取付ペグ 3 4 を締め付けることができる。翼部 2 2、2 4 の位置を変更するために、使用者は取付ペグ 3 4 を緩め、翼部 2 2、2 4 を新しい所望の位置に動かし、次いで再び取付ペグ 3 4 を締め付けてもよい。

【0021】

例えば、使用者は図 1 に示すように翼部 2 2、2 4 を位置決めし、平面上にカメラを昇位して支持 (e l e v a t e a n d s u p p o r t) し、それにより、微速度撮影又はビデオ撮影のために、ハンドフリーの手段、例えばタイマーを用いてカメラ本体 1 0 を利用することができるようになる。使用者は取付ペグ 3 4 を緩め、スタンド 2 0 が下がるように翼部 2 2、2 4 を離すか、又はスタンド 2 0 が上がるように寄せ、次いで取付ペグ 3 4 を締め付けることで、スタンド 2 0 の高さを調整することができる。

【0022】

その後、使用者は、予期しない衝突からカメラ本体 1 0 を保護してコンパクトにスタンド 2 0 を収容するために、図 2 に示すように翼部 2 2、2 4 の位置を変更することを選択してよい。この実施形態では、使用者は取付ペグ 3 4 を緩めて翼部 2 2、2 4 を回転させ、それにより、翼部 2 2、2 4 がカメラ本体 1 0 に隣接するようになる。次いでカメラ本体 1 0 に対する翼部 2 2、2 4 の新しい位置を固定するために、取付ペグ 3 4 を締め付ける。さらに、使用者は、翼部 2 2、2 4 の内側においてカメラ全体又はカメラの大部分のうち何れか一方をより適切に位置決めするために、取付ペグ 3 4 をスロットに沿って摺動させてもよい。

【0023】

図 1、図 2 及び図 3 B に示すように、フレーム型の第一翼部 2 2 は第一足部 4 0 を有し、フレーム型の第二翼部 2 4 は第二足部 4 2 を有する。第一足部 4 0 及び第二足部 4 2 は、翼部 2 2、2 4 と同様の材料から形成されてよい。あるいは、第一足部 4 0 及び第二足部 4 2 は翼部 2 2、2 4 とは異なる材料から形成されてもよい。若しくは、第一足部 4 0 及び第二足部 4 2 は、例えばゴム又はプラスチックからなる材料により被覆されてもよく、これにより、使用中にスタンド 2 0 が滑る可能性が減少するようになる。さらに、スタンド 2 0 が滑る可能性を減少させるために、第一足部 4 0 及び第二足部 4 2 がさらにざらつきのある表面、例えば小塊又は浮彫の細片を有してもかまわない。

【0024】

本発明の他の実施形態において、第一翼部ナックル 2 6 及び第二翼部ナックル 2 8 は、取付ペグ 3 4 が締め付けられるときにカメラ本体 1 0 が押圧するため、弾性の材料、例えばゴム、プラスチック又は発泡材により被覆されてよい。この実施形態では、弾性の材料は、カメラ本体 1 0 と第一翼部ナックル 2 6 及び第二翼部ナックル 2 8 との間の摩擦を増加させ、取付ペグ 3 4 を締め付けたとき、翼部 2 2、2 4 の位置をより適切に固定する。

【0025】

図 1、図 2 及び図 6 に示すように、翼部 22、24 が保護位置の状態でありカメラ本体 10 の周囲に位置決めされている間、フレーム型の第一翼部 22 の第一窓部 44 とフレーム型の第二翼部 24 の第二窓部 46 とは、一般的なカメラの操作を可能にしている。この実施形態では、カメラのレンズは、窓部の一つ、例えば第一窓部 44 を通して延びることができ、又は窓部を通して受光することもできる。さらに、カメラのフラッシュがこの窓部を通して発光することができる。さらに、使用者は、窓部の一つ、例えば第二窓部 46 を通して、ビューファインダからのぞき込むか、又はディスプレイスクリーンを介して見ることもできる。さらに、使用者は、カメラの上部又は側部に位置された、カメラのあらゆるコントロール、例えばカメラの上部に一般に位置されたシャッターボタンを操作することができる。

10

【0026】

図 7 A 及び図 7 B に示すように、本発明の一実施形態において、様々な寸法のカメラを、スタンド 20 と共に利用することができる。例えば、図 7 A に示すように、より大型のカメラ本体 110 がスタンド 20 に取付けられてよい。この実施形態では、取付ペグ 34 は、より小型のカメラ本体を取付けるのと同程度に締め付けられていない。さらに、カメラ本体 110 の端部は、より小型のカメラが干渉する位置とは異なる、翼部 22、24 上の位置に干渉する。しかしながら、カメラ本体 110 の位置は取付ペグ 34 を緩める（又は締め付ける）ことにより調整できるので、スタンド 20 は、支持位置及び保護位置の両方の状態において、より大型のカメラ本体 110 に対して動作することができる。

20

【0027】

図 7 B に示すように、より小型のカメラ本体 120 をスタンド 20 と共に利用することができる。この実施形態では、取付ペグ 34 は、図 7 A に示すより大型のカメラ本体 110 が取付けられた場合より、さらに締め付けられている。しかしながら、カメラ本体 120 の位置は取付ペグ 34 を締め付ける（又は緩める）ことにより調整できるので、スタンド 20 は、支持位置及び保護位置の両方の状態において、より小型のカメラ本体 120 に対して動作することができる。

【0028】

図 8 に示すように、本発明の別の実施形態では、スタンド 120 は、スロット 161 及び基部ナックル 130、132 を有する基部 160 と、第一翼部ナックル 126 を有する第一翼部 122 と、第二翼部ナックル 128 を有する第二翼部 124 とを備え、上述したように、各翼部 122、124 は基部 160 にヒンジ接続されている。翼部 122、124 は、足部 140、142 を各々有しており、窓部 144、146 を各々有している。この実施形態において、基部 160 は、カメラを運ぶためのカメラストラップを受けるのに適した少なくとも一つのカメラストラップスロット 200 をさらに有する。この実施形態において、使用者は、カメラストラップをカメラストラップスロット 200 を通して挿入してよく、使用者はカメラストラップを用いて、スタンド 120 に取付けられたカメラを伴わずに又は伴って、スタンド 120 を運ぶことができる。

30

【0029】

本発明は、典型的な実施形態であると考えられているものに関連して記載されていると同時に、本発明は、開示された実施形態、特性及び構成に限定されず、それどころかさらに様々な変更及び同様の装置まで及ぶと理解されるべきである。

40

【符号の説明】

【0030】

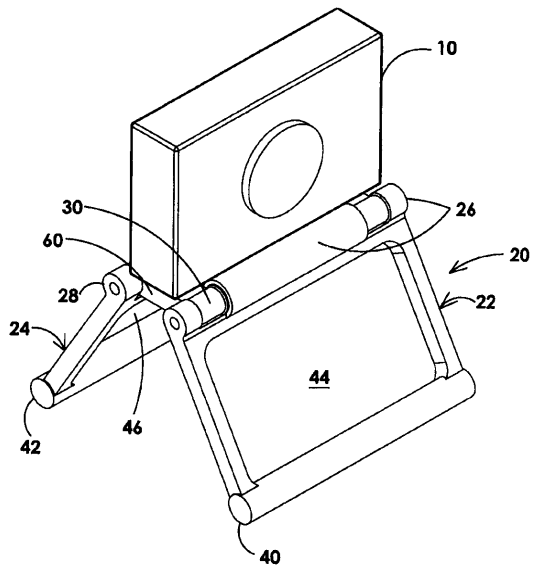
10、110	カメラ本体
20、120	スタンド
22、122	第一翼部
24、124	第二翼部
26、126	第一翼部ナックル
28、128	第二翼部ナックル
30、130	第一基部ナックル

50

- 32、132 第二基部ナックル
 34 取付ペグ
 36 支柱
 38 係止ノブ
 60、160 基部
 62、161 スロット

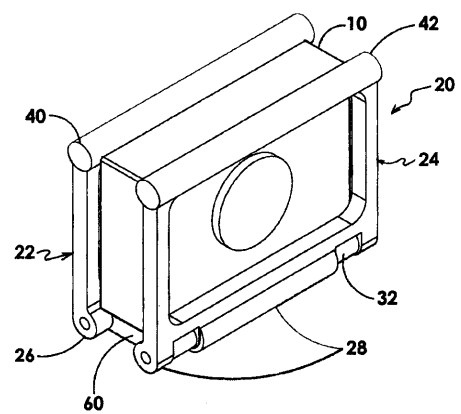
【図1】

図1



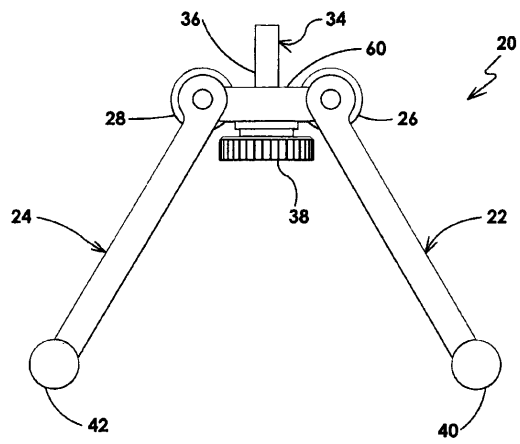
【図2】

図2



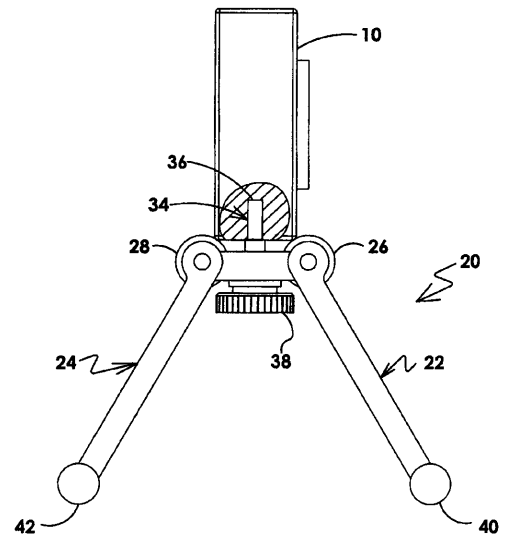
【図 3 A】

図3A



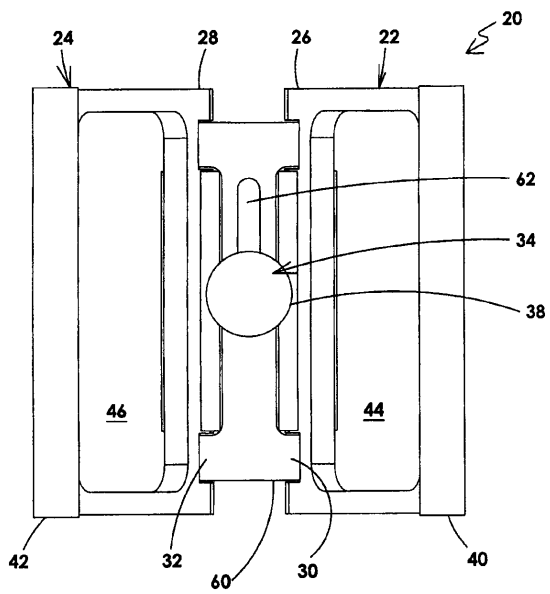
【図 3 B】

図3B



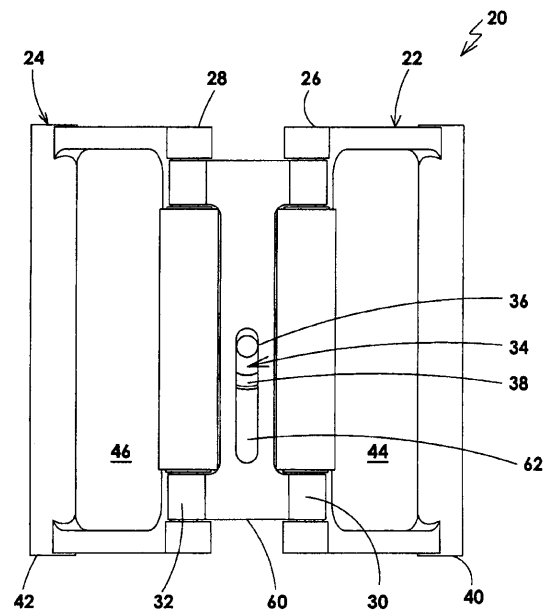
【図 4】

図4



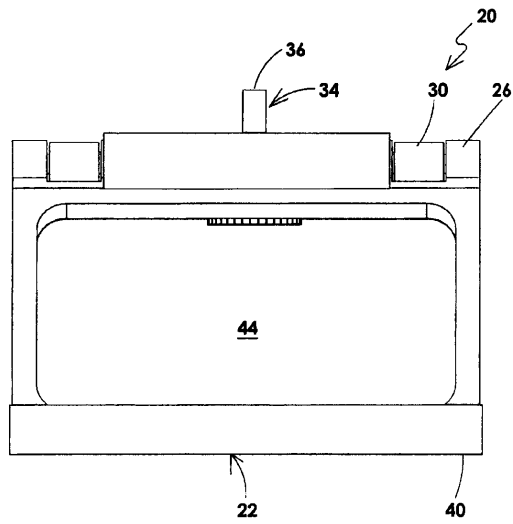
【図 5】

図5



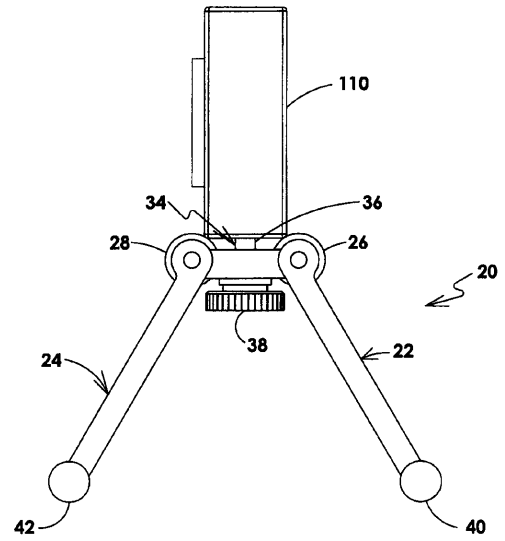
【図 6】

図6



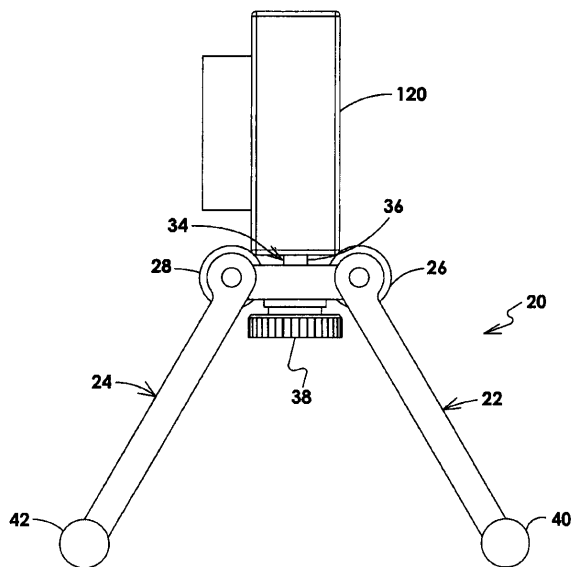
【図 7 A】

図7A



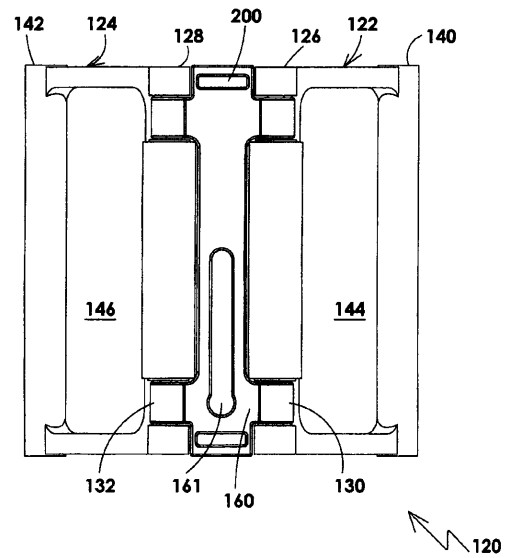
【図 7 B】

図7B



【図 8】

図8



フロントページの続き

(74)代理人 100154380

弁理士 西村 隆一

(72)発明者 ゲイリー フォン

アメリカ合衆国, ワシントン 98101, シアトル, ファースト アベニュー 1301, スイート 2101

Fターム(参考) 2H105 AA03 AA17

5C122 DA04 EA05 GD01 GE04 GE07

【外国語明細書】
2010140032000001.pdf